



## 安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-8183-5	版	7.03
発行日	2022/04/03	前発行日	2022/02/20

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

3M<sup>™</sup> キュロス<sup>™</sup> プロテクタ (ニードルレスコネクタ用) CFF1-270R, CFF10-250R

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	医療用製品技術部
電話番号	042-770-3802

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

引火性液体： 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分3

#### GHSラベル要素

注意喚起語

危険

#### シンボル

炎 感嘆符

#### ピクトグラム



#### 危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H319 強い眼刺激  
H336 眠気又はめまいのおそれ

#### 注意書き

#### 安全対策

P210A 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
P280B 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
P264B 取扱い後は接触した皮膚をよく洗うこと

#### 応急措置

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。  
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。  
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
P370 + P378G 火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

#### 保管

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

#### 廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
イソプロピルアルコール	67-63-0	65 - 75
水	7732-18-5	25 - 35

### 4. 応急措置

#### 応急措置

##### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

##### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

##### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

#### 消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

情報なし。

#### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

#### 有害な分解物または副生成物

##### 物質

一酸化炭素

二酸化炭素

##### 条件

燃焼中

燃焼中

#### 消火作業員の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

#### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 水で残さを清浄する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、

できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。爆発の危険となる可能性がある水素の形成を避けるため、反応性の金属（例えば、アルミニウム、亜鉛等）から遠ざける。静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

### 保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
イソプロピルアルコール	67-63-0	ACGIH	TWA : 200ppm、STEL : 400ppm	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
イソプロピルアルコール	67-63-0	ISHL	TLV (8時間) : 200 ppm	
イソプロピルアルコール	67-63-0	JSOH OELs	CEIL : 980 mg/m <sup>3</sup> (400 ppm)	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

### ばく露防止策

#### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。防爆換気装置を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。  
間接式換気ゴーグル

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ニトリルゴム

#### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

有機ガス用半面形あるいは全面形防毒マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	無色
臭い	溶剤
臭いの閾値	データはない。
pH	6 - 8
融点・凝固点	適用しない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	82.8 °C [詳細：IPAとして]
引火点	18.3 °C [試験方法：クローズドカップ法] [詳細：IPAとして]
蒸発速度	1.7 [参照基準：酢酸ブチル=1] [詳細：IPAとして]
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	2 % [詳細：IPAとして]
燃焼点 (上限)	12.7 % [詳細：IPAとして]
蒸気圧	4,319.6 Pa [試験条件：20 °C] [詳細：IPAとして]
蒸気密度/相対蒸気密度	2.1 [参照基準：空気=1] [詳細：IPAとして]
密度	0.877 g/ml [詳細：IPAとして]
比重	0.877 [参照基準：水=1] [詳細：IPAとして]
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	中程度 [詳細：IPAとして]
n-オクタノール/水分配係数	0.05
発火点	398.9 °C [詳細：IPAとして]
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	2.2 mPa-s [詳細：IPAとして]
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

モル重量

適用しない。

**ナノパーティクル**

この製品はナノパーティクルを含有しない。

**10. 安定性及び反応性****反応性**

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

**化学的安定性**

安定。

**危険有害反応の可能性**

有害な重合反応は起こらない。

**避けるべき条件**

火花ないし炎

**混触危険物質**

反応性金属

強酸

強酸化性物質

**危険有害な分解物****物質****条件**

知見はない。

**11. 有害性情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

**毒性学的影響に関する情報****ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**眼に入った場合**

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

**皮膚に付着した場合**

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

**吸入した場合**

その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### 飲み込んだ場合

その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### その他健康影響情報

##### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

##### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合があります。

##### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
イソプロピルアルコール	皮膚	ウサギ	LD50 12,870 mg/kg
イソプロピルアルコール	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 72.6 mg/l
イソプロピルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 4,710 mg/kg

ATE=推定急性毒性

##### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	多種類の動物種	刺激性なし

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	ウサギ	激しい刺激

##### 呼吸器感作性または皮膚感作性

##### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	モルモット	区分に該当しない。

##### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

##### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果

イソプロピルアルコール	In vitro	変異原性なし
イソプロピルアルコール	In vivo	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	器官発生期
イソプロピルアルコール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 9 mg/l	妊娠期間中

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 13.4 mg/l	24 時間
イソプロピルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12.3 mg/l	24 月
イソプロピルアルコール	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12 mg/l	13 週
イソプロピルアルコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/day	12 週

## 誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。



## 生態毒性

## 水生環境有害性 短期 (急性)

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

## 水生環境有害性 長期 (慢性)

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
イソプロピルアルコール	67-63-0	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,050 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	甲殻類	実験	24 時間	LC50	>10,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	86 % BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.05	非標準的な手法

## 土壌中の移動性

データはない。

## オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3175 固体 (引火性を有する液体を含むもの)

輸送分類 (IMO)： 4.1 可燃性固体、自己反応性物質、固体の鈍性化火薬類および重合物質

輸送分類 (IATA)： 4.1 可燃性固体、自己反応性物質、固体の鈍性化火薬類および重合物質

容器等級：II

#### 国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

#### 国内法規制及び関連情報

##### 日本国内法規制（主な適用法令）

薬機法医薬品、医薬部外品、化粧品は労働安全衛生法の対象外

船舶安全法、航空法：可燃性固体、自然発火性物質、水と接触すると引火性ガスを発生する物質

##### 主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
イソプロピルアルコール	494（プロピルアルコール）	該当なし	該当なし

## 16. その他の情報

#### 改訂情報

セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション11：生殖毒性の表 情報修正.

セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。